

「低炭素社会に向けた技術シーズ発掘・社会システム実証モデル事業」 成果報告会

平成22年3月
産業技術環境局

1. 開催趣旨

我が国が世界に先駆けて「低炭素社会」への転換を進めるために、地域社会を支える大学、産業界、自治体等が地域ぐるみで連携し、新たな社会システムの構築に向けた実証を行うことを目的として、経済産業省では、平成20年度第一次補正事業として「低炭素社会に向けた技術シーズ発掘・社会システム実証モデル事業」を各地域で推進してまいりました。

当該事業は、本年3月末までに各地域における社会実証を終えることになっており、その成果をとりまとめるため、3月25日（木）に成果報告会を開催いたします。

2. 日時

平成22年3月25日（木） 14：00～16：40

3. 場所

経済産業省 講堂（経済産業省本館地下2階）

4. プログラム

(1) 開会 (14:00)

(2) 社会実証事業の成果報告

<前半> (14:05～15:00)

テーマ名	実施地域
北海道発・草本資源を利活用した次世代ゼロエミ燃料による低炭素社会への実証モデル	北海道下川町
燃える一般廃棄物の炭化加工による、低コスト・低炭素型地域社会の構築	福島県三島町
自宅に退蔵された使用済携帯電話の回収方法に関する社会システム実証モデル事業	東京都渋谷区、江東区、川崎市他
太陽光等のエコ発電で高圧送水可能なポンプを活用した海水飲料水化システムの実証事業	横浜市
質疑応答(15分)	

<後半> (15:00~15:55)

テーマ名	実施地域
低床型コミュニティ電気バスの開発と『環境モデル都市』バス路線での実証モデル運行	富山市
ヒートポンプを用いた大空間環境制御インテリジェントシステムの開発・実証評価	福井県
臨海工業都市における水資源循環システムの低炭素・低動力プロセスの開発	山口県周南市
低炭素社会向けソーラ農耕機の開発及び諫早干拓地でのモデル実証試験	長崎県
質疑応答(15分)	

(3) 事業総括 (15:55~16:35)

<有識者(五十音順)>

- ・ 柏木 孝夫 東京工業大学統合研究院 教授
- ・ 持田 勲 九州大学産学連携センター 特任教授
- ・ 和坂 貞雄 (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構 理事
群馬大学産学連携・先端研究推進機構 客員教授

(4) 閉会 (16:40)

5. 展示

各地域で実施された取組について、内容を説明したパネルや成果物を会場に展示します。
 展示時間：13:00~18:00

6. 参加申込

参加費は無料です。参加をご希望される方は、3月24日(水)12:00までに、氏名(漢字およびカタカナ)・職業(勤務先)・連絡先(電話番号・電子メールアドレス等)を明記の上、下記問い合わせ先まで、FAXまたは電子メールにて登録ください。参加希望者多数の場合は、先着順とさせていただきますので、予めご了承ください。

※当省では、庁舎内セキュリティ強化のため、セキュリティゲートを設置しています。このため、経済産業省本館入口(最寄出口：東京メトロ霞ヶ関駅A12a)に本報告会用の臨時受付を設置し、参加者に一次通行証を配布致しますので、当該受付までお越しください。(入校の際は身分を証明できる者を御提示ください。)

7. 問い合わせ先

経済産業省 低炭素社会システム実証モデル事業成果報告会事務局

E-Mail : teitanso-model@meti.go.jp

FAX : 03-3501-7908